

「地域脱炭素・京都コンソーシアム」第3回検討会議 結果概要

1 日 時 令和5年8月18日（金）10時～12時

2 場 所 京都府庁職員福利厚生センター第4会議室及びオンライン

3 出席者等 名簿のとおり

4 議 事

- (1) 環境省「地域ぐるみの中小企業支援体制構築事業」における事業計画書及び支援体制について
- (2) 「地域ぐるみの中小企業支援体制構築事業」における支援メニューに係る意見交換について
- (3) 「京都ゼロカーボン・フレームワーク」の利用状況等報告について

5 概 要

- 今回より京都府地球温暖化防止活動推進センター追加。主に脱炭素化に向け、先進的に取り組む中小企業のPRを担う。
- 中小企業への支援にあたっては、本コンソーシアムの各ステークホルダーが役割を担って支援するよう、今後検討していく。
- 京都府における中小企業の脱炭素支援の方向性及び「地域ぐるみでの中小企業支援体制構築事業」における支援メニューについては、構成団体から項目については概ね合意が得られた。
- 府内企業の脱炭素化に向けたアンケート調査の実施にあたっては、中小企業向け脱炭素セミナーの実施との連動等、周知方法を工夫する必要があるとする御意見をいただいた。
- 省エネ診断の実施にあたっては、京都ゼロカーボン・フレームワークの目標達成のメニューのひとつとして活用したいとその重要性に対する言及があった。
- 中小企業向け脱炭素セミナーの実施にあたっては、多くの中小企業に参加いただくため、座学とグループワークの2回開催が効果的ではという御意見をいただいた。
- 一方、中小企業向け脱炭素セミナーの内容については、基礎的な内容をベースとし、参加の敷居を低くする意見と、参加者のレベルや業種をある程度明確化するという意見があった。
- 金融機関向け脱炭素セミナーの実施にあたっては、営業担当が取引先と脱炭素を対話するきっかけとなるような補助金情報や具体的な支援ツールの使い方等が必要ではという御意見をいただいた。
- 京都府（事務局）では、各構成団体から頂戴した意見等を踏まえ、「地域ぐるみでの中小企業支援体制構築事業」における支援メニューの実施に向け、検討を進めていく。
- 「京都ゼロカーボン・フレームワーク」については、7月末時点で23件組成済み。引き続き利用拡大及び利用企業との伴走支援に向け、各金融機関には御協力をお願いする。
- 「京都ゼロカーボン・フレームワーク」は他の金融機関にも利用可能としていく。なお、本支援事業については、現行の構成団体を対象とする。

以 上